

## 交換用バッテリーパック

# BP70XS/BP100XS/BP150XS 取扱説明書

本製品は、BU50SW/BU75SW/BU50XS/BU70XS用(BP70XS)、  
BU100SW/BU1002SW/BUM100S/BU100XS/MB100XSU用(BP100XS)、  
BU150SW/BUM150S/BU3002SW/BUM300S用(BP150XS)の交換用バッテリーパックです。

## 目次

安全上のご注意 .....	1
1. 付属品を確認する .....	3
2. バッテリーの交換 .....	3
2-1. 無停電電源装置 (UPS) のバッテリー交換方法 .....	3
2-2. 増設用バッテリーユニットのバッテリーの交換方法 .....	10

## 安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。  
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

■この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

 : 禁止 (してはいけないこと) を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。

 : 強制 (必ずしなければならないこと) を示します。例えば  はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。  
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 注意 (バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。



指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品型式 :
  - BP70XS (BU50SW/BU75SW/BU50XS/BU70XS 交換用バッテリーパック)
  - BP100XS (BU100SW/BU1002SW/BUM100S (2 個必要)/BU100XS/MB100XSU 交換用バッテリーパック)
  - BP150XS (BU150SW/BUM150S (2 個必要)/BU3002SW (2 個必要)/BUM300S (4 個必要) 交換用バッテリーパック)



## ⚠ 注意 (バッテリー交換時)

可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリー交換の際、バッテリー収納口に手を入れないこと。

- 感電ショート危険があります。
- 金属物を中に差し込まないでください。



バッテリー接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。

- 感電する恐れがあります。



梱包のポリ袋やフィルム類は幼児の手の届かない場所に移してください。

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



## ◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリー(鉛蓄電池)を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



バッテリーの保管(使用していない状態)可能期間は、完全充電状態から約6ヶ月です。(保管温度25℃以下の場合。40℃以下の場合には約2ヶ月です。)

- バッテリーは使用しなくても内部で自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となり、バックアップ時間が短くなったり、ご使用できなくなることがあります。
- バッテリーは保管中にも劣化が進み、寿命が短くなります。早目にご使用を開始してください。
- バッテリーご購入後6ヶ月以内にご使用を開始してください。  
無停電電源装置(UPS)に取り付けて保管される場合は、保管前に8時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にしてください。保管期間が6ヶ月を超える場合、超える前に無停電電源装置(UPS)を8時間以上商用コンセントに接続し、バッテリーの再充電を行ってください。
- 保管を継続される場合は、保管温度25℃以下の場合には以後6ヶ月ごと、40℃以下の場合には2ヶ月ごとに再充電を行ってください。

## 1. 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

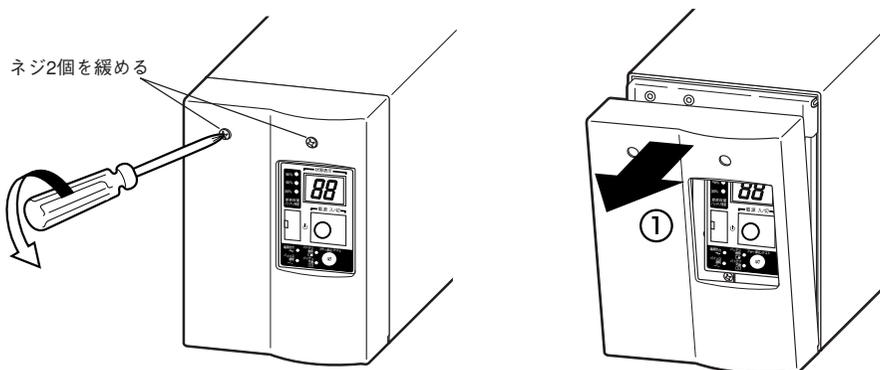
- 取扱説明書(本書) ..... 1冊
- バッテリーパック固定用ネジ (予備) ..... 2本

## 2. バッテリーの交換

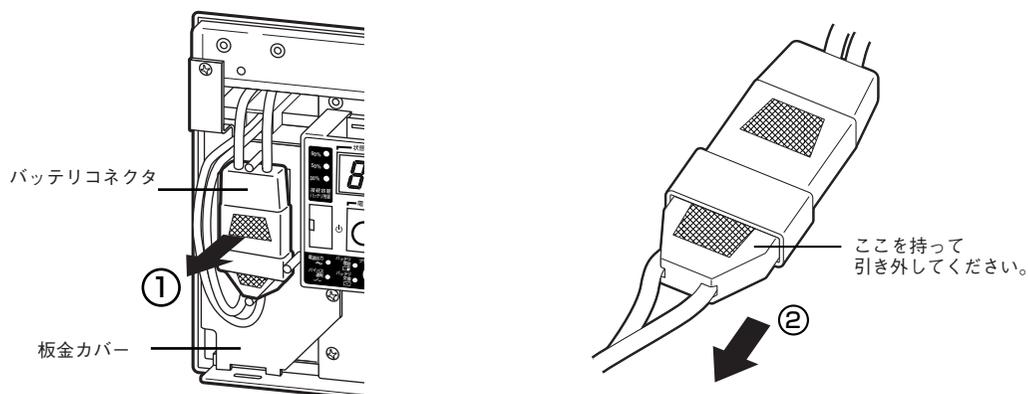
### 2-1. 無停電電源装置 (UPS) のバッテリーの交換方法

BU50SW/BU75SW/BU50XS/BU70XS/BU100SW/BU1002SW/BU150SW の場合

1. 無停電電源装置 (UPS) のフロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。(ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。) フロントパネルを手前に外します。①

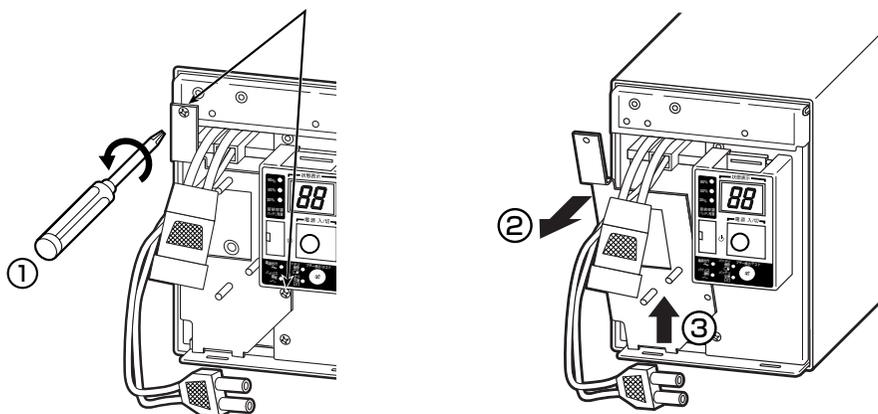


2. 板金カバーからバッテリーコネクタを取り①、コネクタを引き外します。②



3. 板金カバーを止めてあるネジ2個を反時計回りに回して外します。①  
板金カバーを手前に引きながら②、上に持ち上げ外します。③

ネジ2個を外す

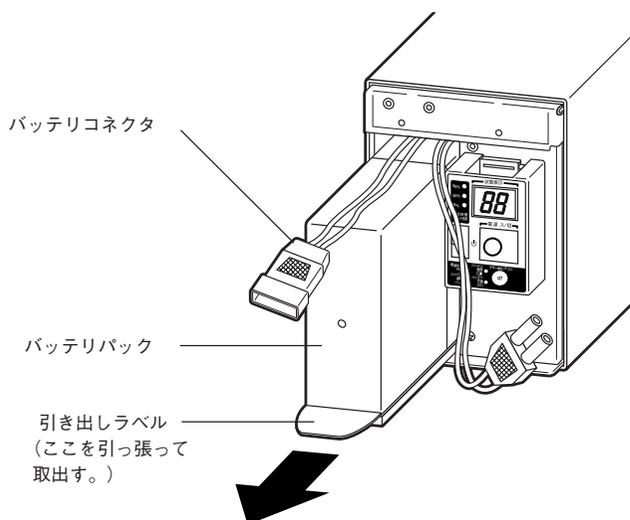


4. バッテリーパック下段の引き出しラベルを持って、バッテリーパックを取り出します。

### ⚠ 注意

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリーパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリーが完全に取り出せます。バッテリーを両手でしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう注意してください。



5. 新しいバッテリーを無停電電源装置 (UPS) の奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリーパック

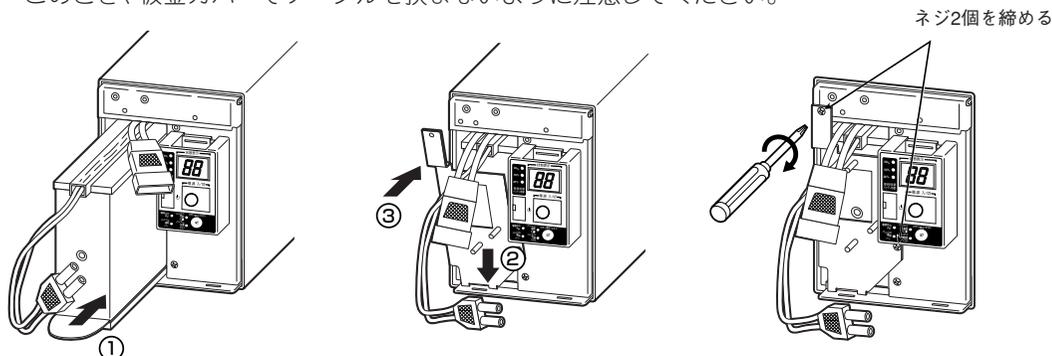
BU50SW/BU75SW/BU50XS/BU70XS用 : 型式名 BP70XS  
BU100SW/BU1002SW/BU100XS用 : 型式名 BP100XS  
BU150SW : 型式名 BP150XS

板金カバーを取り付けます。

カバー下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後②、本体側へ押さえ込みます。③

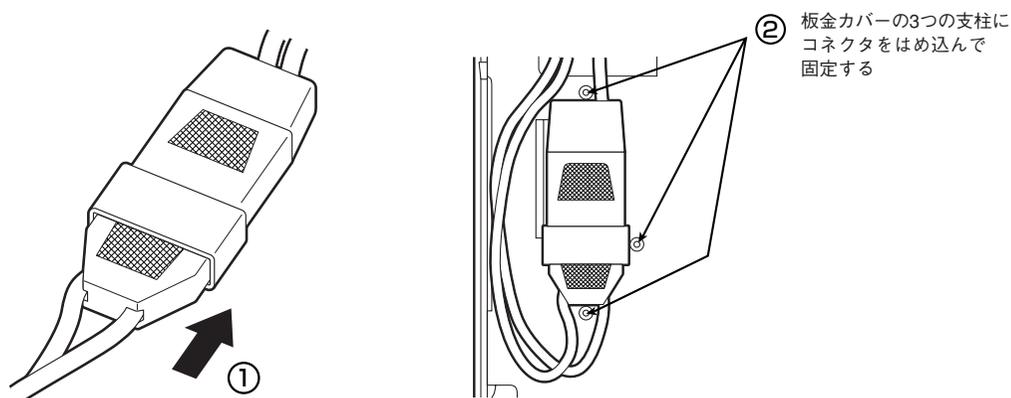
外したネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。

このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。



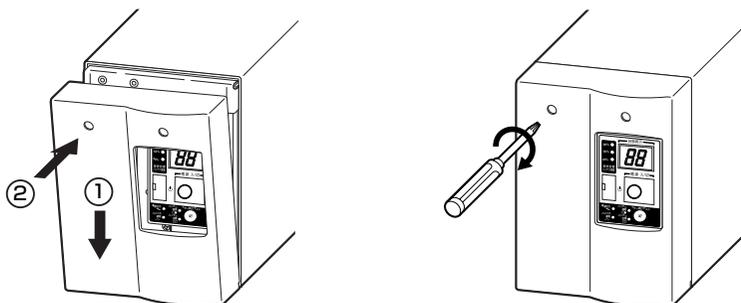
6. コネクタを止まるまで差し込みます。①  
コネクタを板金カバーに固定します。②

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。



板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。  
再度、コネクタを差し込みなおしてください。

7. フロントパネルを取り付けます。  
 フロントパネル下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後①、本体側へ押さえます。②  
 フロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。

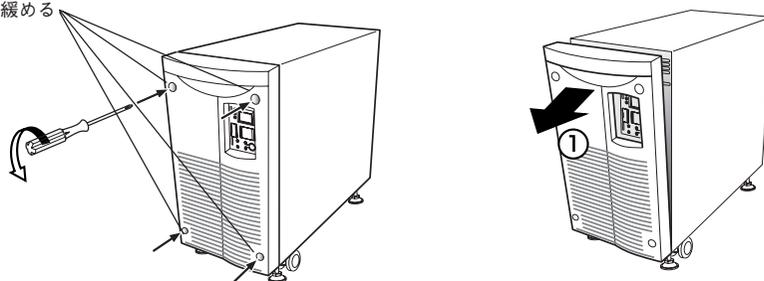


以上でバッテリー交換は完了です。

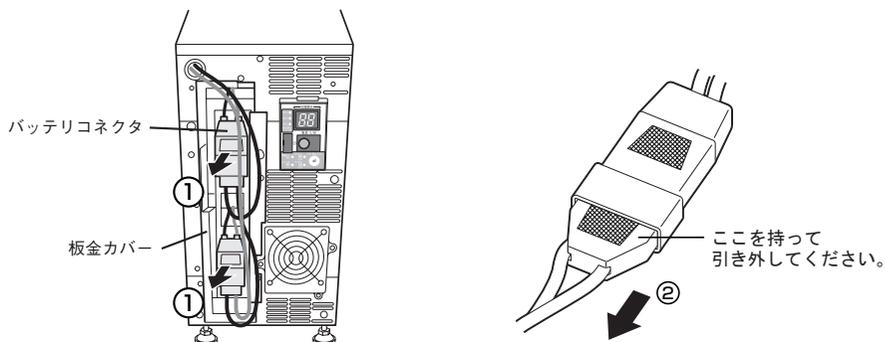
### BU3002SWの場合

1. 本機のフロントパネルにあるネジ4個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。  
 (ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。)  
 フロントパネルを手前に外します。①

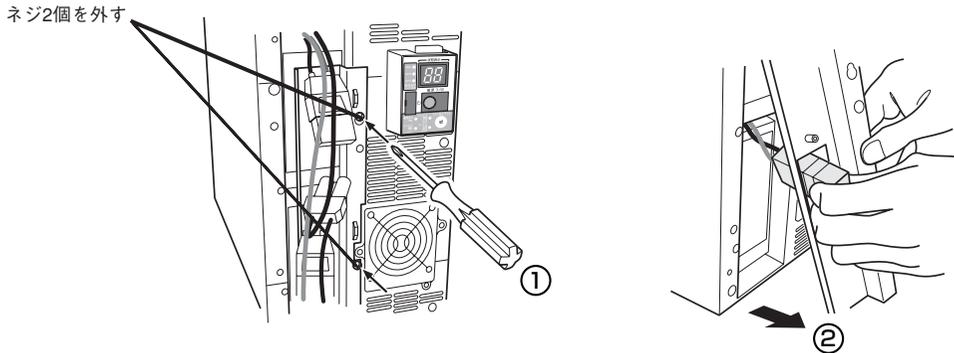
ネジ4個を緩める



2. 板金カバーから下のバッテリーコネクタを取り①、それぞれのコネクタを引き外します。②



3. 板金カバーを止めてあるネジ2個を反時計回りに回して外します。①  
板金カバーを手前に引きながら②、上に持ち上げ下のバッテリーコネクタを通し穴から取り出します。

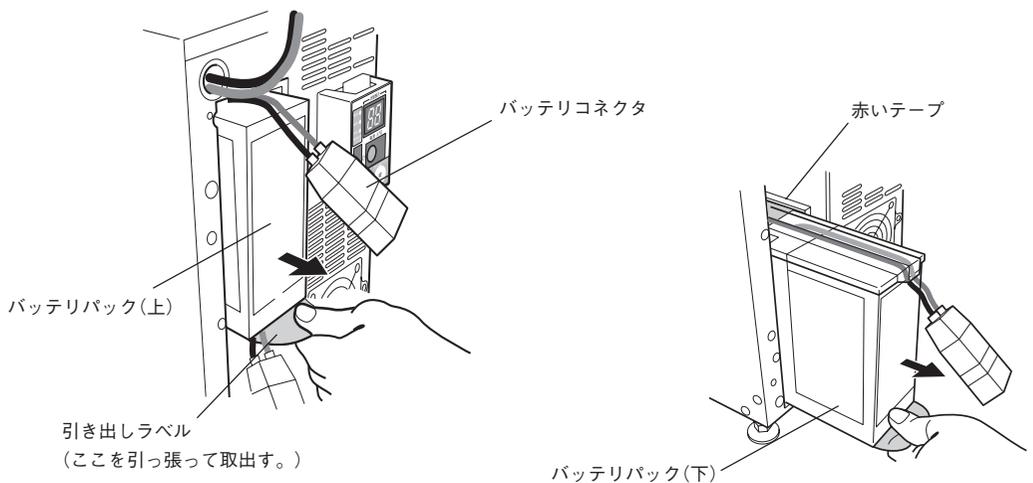


4. バッテリーパック下段の引き出しラベルを持って、バッテリーパックを取り出します。  
上段と下段、1つずつ取り出してください。

### ⚠ 注意

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリーパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリーが完全に取り出せます。バッテリーを両手でしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう注意してください。



5. 上下段とも新しいバッテリーを本機の奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリーパック

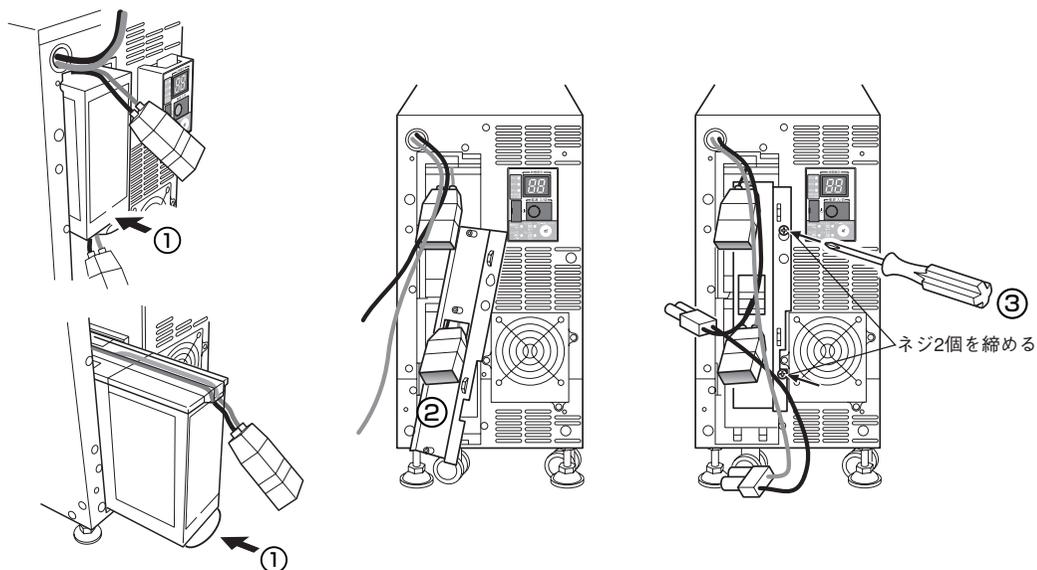
BU3002SW用：型式名BP150XS（2個必要）

板金カバーの四角い穴に、下段バッテリーコネクタ上部分を通します。②

カバー下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後、本体側へ押さえます。

外したネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。③

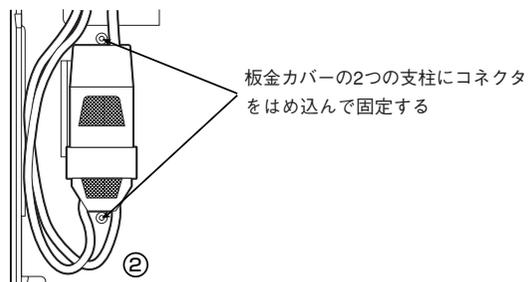
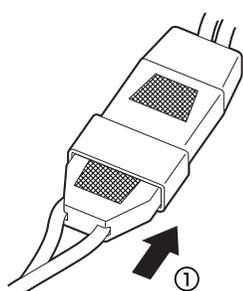
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。



6. 上下のコネクタを止まるまで差し込みます。①

コネクタを板金カバーに固定します。②

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

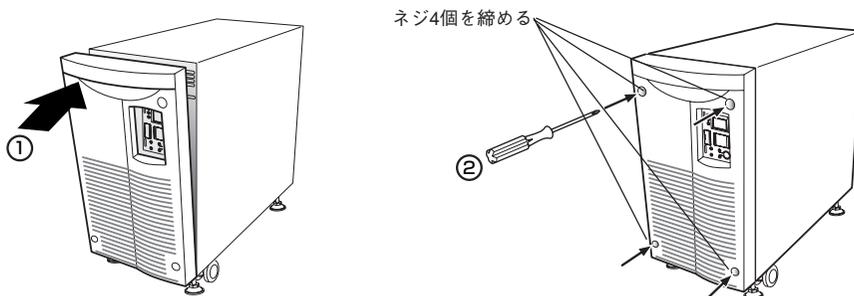


板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。再度、コネクタを差し込みなおしてください。

7. フロントパネルを取り付けます。

フロントパネルを本体側へ押さえます。①

フロントパネルにあるネジ4個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②



以上でバッテリー交換は完了です。

<運転状態のまま交換した後は・・・>

「ブザー停止/テスト」スイッチを10秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。交換前に「バッテリー交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は・・・>

「AC入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。

❗ 天面のシールに使用開始時期を記入してください。なお、無停電電源装置（UPS）に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリー（鉛蓄電池）を使用しています。

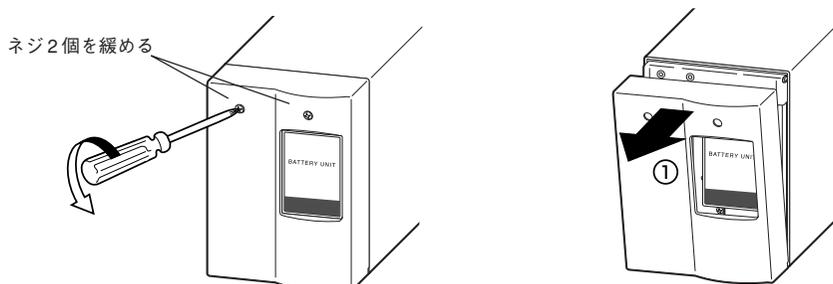
- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



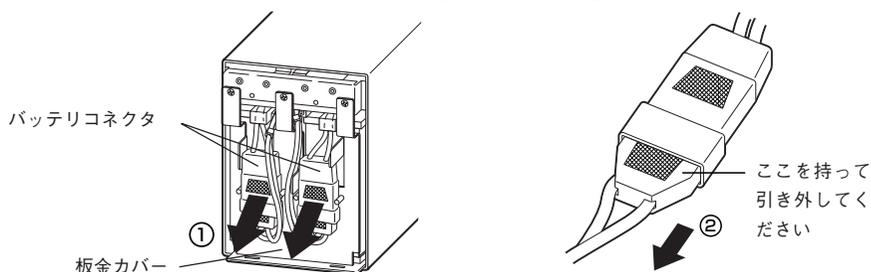
## 2-2. 増設用バッテリーユニットのバッテリーの交換方法

### BUM100S/BUM150S/MB100XSUの場合

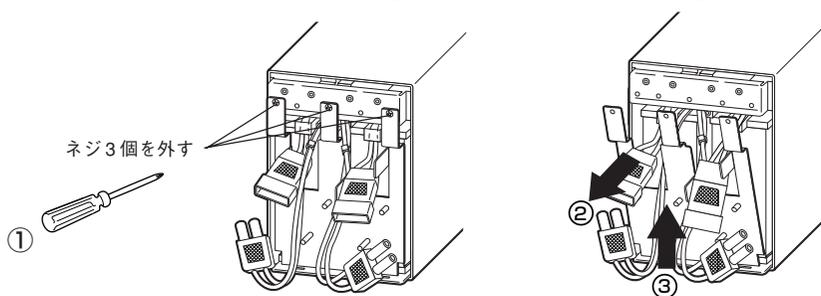
1. 増設用バッテリーユニットのフロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。(ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。) フロントパネルを手前に引き外します。①



2. 板金カバーからバッテリーコネクタ2個を取り①、コネクタを引き外します。②



3. 板金カバーを止めてあるネジ3個を反時計回りに回して外します。① 板金カバーを手前に引き倒してから②、上に持ち上げ外します。③

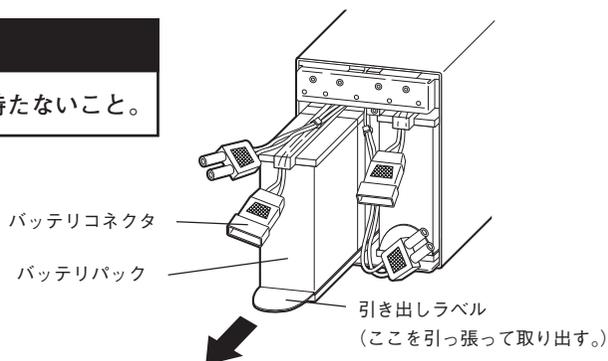


4. バッテリーパック下段の引き出しラベルを持ってバッテリーパックを両方も取り出します。

### ⚠ 注意

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリーパックの天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリーが完全に取出せます。バッテリー上部をしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう、注意してください。



5. 新しいバッテリーパック2個を増設用バッテリーユニットに奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリーパック

BUM100S/MB100XSU用：型式名BP100XS（2個必要）

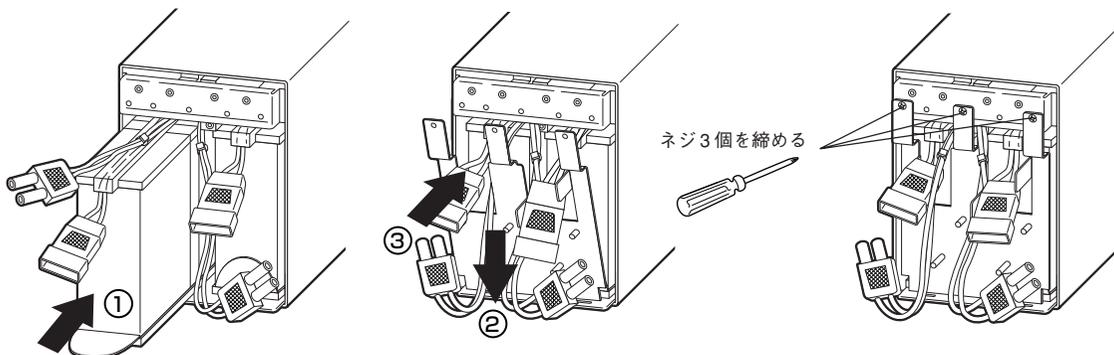
BUM150S用：型式BP150XS（2個必要）

板金カバーを取り付けます。

カバー下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後②、本体側へ押さえます。③

外したネジ3個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。

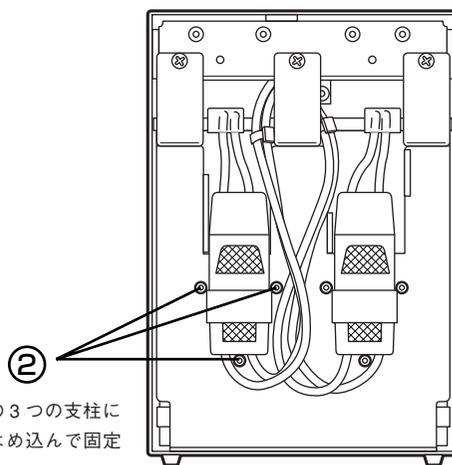
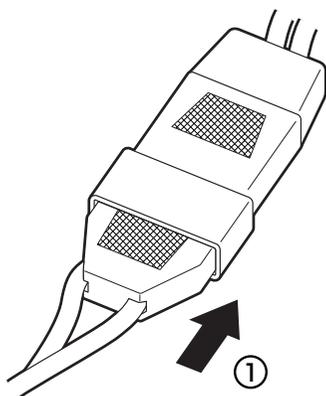
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。



6. コネクタを止まるまで差し込みます。①

コネクタを板金カバーに固定します。②

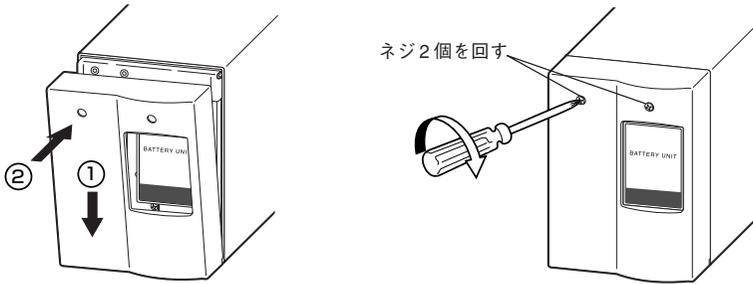
本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。



板金カバーの3つの支柱にコネクタをはめ込んで固定する。

板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。再度、コネクタを差し込みなおしてください。

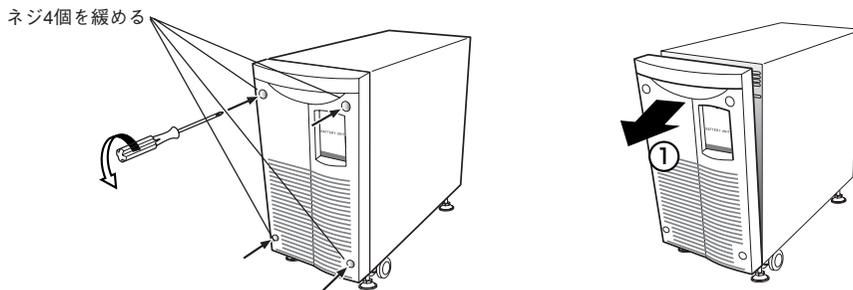
7. フロントパネルを取り付けます。  
 フロントパネル下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後①、本体側へ押さえます。②  
 フロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。



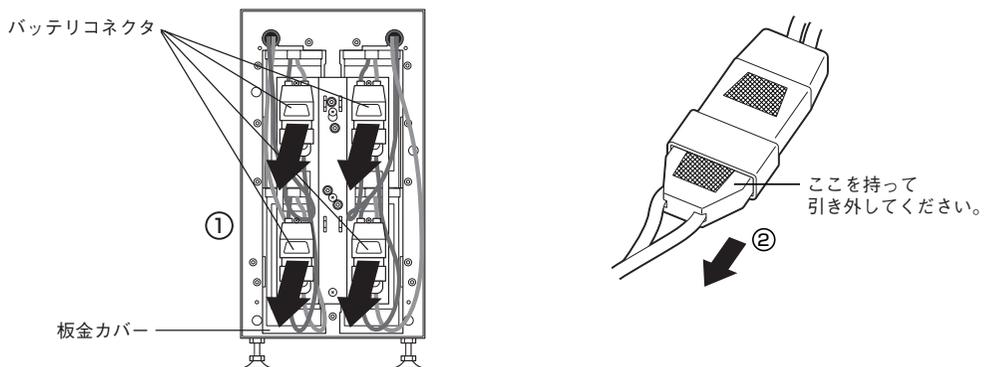
以上でバッテリー交換は完了です。

### BUM300Sの場合

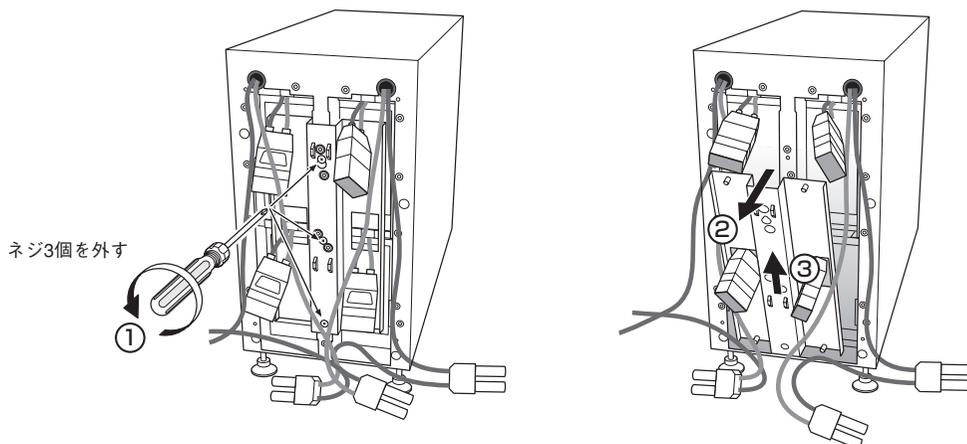
1. 増設バッテリーユニットのフロントパネルにあるネジ4個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。(ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。)  
 フロントパネルを手前に外します。①



2. 板金カバーからバッテリーコネクタ4個を取り①、コネクタを引き外します。②



3. 板金カバーを止めてあるネジ3個を反時計回りに回して外します。①  
板金カバーを手前に引きながら②、上に持ち上げ下部2つのバッテリーコネクタを通し穴から取り出して外します。③

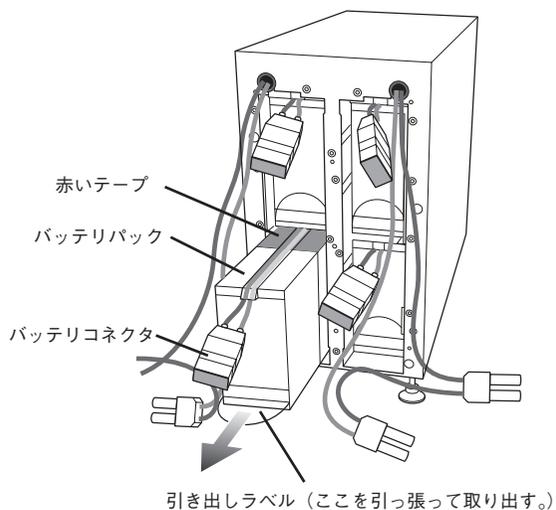


4. バッテリーパック下部の引き出しラベルを持ってバッテリーを4個とも取り出します。  
上段と下段、1つずつ取り出してください。

### ⚠ 注意

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリーパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリーが完全に取り出せます。バッテリーを両手でしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう注意してください。



5. 新しいバッテリーパック4個を増設用バッテリーユニットに奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリーパック

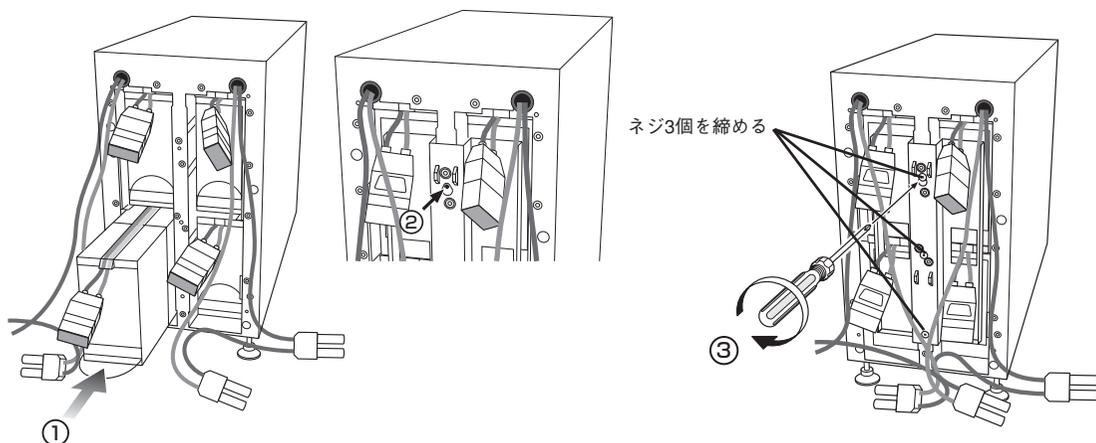
BUM300S用：型式名BP150XS（4個必要）

板金カバーを取り付けます。

板金カバー上部のしずく型ネジ穴と、増設用バッテリーユニットの一番上のネジ穴を合わせます。②

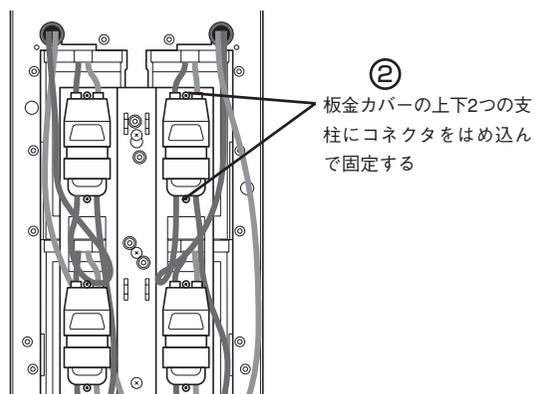
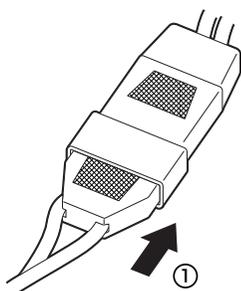
外したネジ3個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。③

このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。



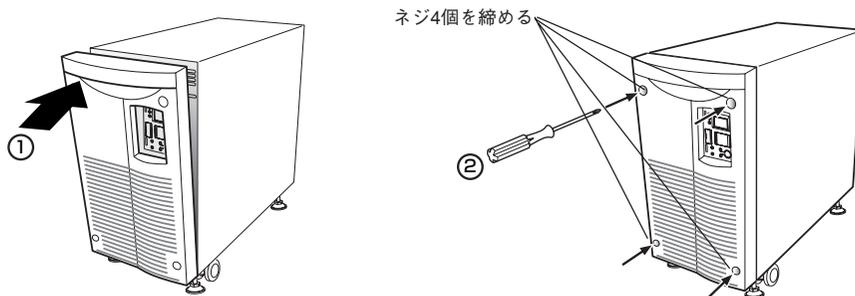
6. コネクタを止まるまで差し込みます。①  
コネクタを板金カバーに固定します。②

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。



板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。  
再度、コネクタを差し込みなおしてください。

7. フロントパネルを取り付けます。  
フロントパネルを本体側へ押さえます。①  
フロントパネル上部にあるネジ4個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②



以上でバッテリー交換は完了です。

<運転状態のまま交換した後は・・・>

無停電電源装置 (UPS) の「ブザー停止 / テスト」スイッチを 10 秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1 回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。

交換前に「バッテリー交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は・・・>

「AC入力」プラグを電源コンセント (商用電源) に接続し、無停電電源装置 (UPS) の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約 10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。



天面のシールに使用開始時期を記入してください。なお、無停電電源装置 (UPS) に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリー (鉛蓄電池) を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



- 交換済みの不要バッテリーはお客様のご負担は送料のみの無償引取りを行っております。詳しくは別紙、「UPS リプレイスサービス」引取依頼書をご参照ください。

